

2024 年 8 月 6 日

通貨ニュース

新興国: グローバル製造業 PMI は 6 か月ぶりに 50 割れ

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数(PMI)によれば、7 月製造業 PMI は 49.7 と 6 月(50.8)から低下し、6 か月ぶりに中立水準(=50)を割り込んだ。先進国(49.7→48.8)は構成項目が全体的に低下に寄与し、22 か月連続で中立水準割れを記録。片や、新興国(52.1→50.7)は生産と新規受注が大きく落ち込んだが、18 か月連続で中立水準超えを維持した(図表 1、2)。また、グローバル非製造業 PMI(53.1→53.3)は 2 か月ぶりに上昇。内訳を確認すると、先進国(53.4→53.5)、新興国(52.6→53.2)といずれも上昇した。

これらを合わせたコンポジット PMI は 52.5 と前月(52.9)から低下も、9 か月連続で中立水準超えを維持。世界の GDP 成長率は 1～3 月期に+3.6%(前期比年率)と、前四半期から伸びが加速した(図表 3)。PMI の推移を確認する限り、4～6 月期に伸びが加速したあと、やや勢いを落としていると推察される。

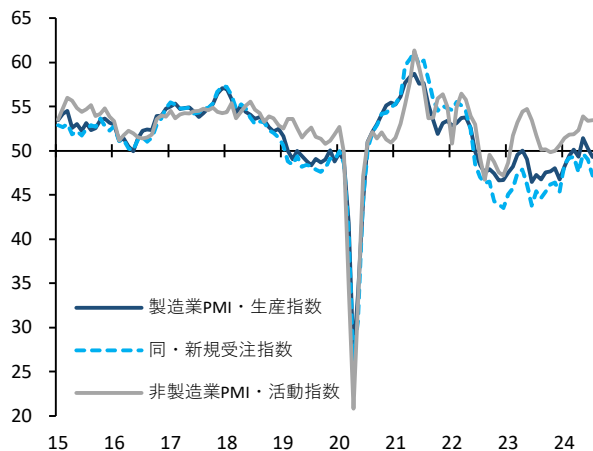
製造業 PMI に関し、グローバルな金融政策動向を占う上で重要な、価格関連の指数を確認したい。仕入れ価格・出荷価格は、7 月に揃って低下した(図表 4)。今年に入って以降、特に仕入れ価格指数の上昇が目立っていたことは過去の本欄でも指摘したが、このトレンドは 7 月に一旦停止したように見受けられる。下記の通り、足許の生産および先々の見通しが落ち込んだことから、需要サイドからの価格上昇圧力が後退した可能性が高い。もちろん最近の資源価格下落も一定寄与しているだろう。単月の結果のみでは判断できないが、財部門のインフレ再燃懸念は、利下げ路線を控く程の水準には達していない。

製造業 PMI の構成指数別では、入荷遅延以外の 4 項目が PMI の低下に寄与した。生産指数はグローバルに低下も、7 か月連続で中立水準超えを維持(図表 5)。新規受注もグローバルに低下、6 か月ぶりに中立水準を割り込んだ(図表 6)。また、雇用は先進国主導で低下も、5 か月連続で中立水準超えを維持(図表 7)。加えて、購買品在庫は先進国主導で低下、5 か月連続で中立水準を割り込んでいる(図表 8)。生産見通しの停滞が、在庫取り崩しの流れに寄与している。一方で、入荷遅延(逆インデックス)は 3 か月連続で低下し、前月に続きに中立水準を割り込んでいる。需要は落ち着いていることから、世界的な海運ルート of の乱れなどを反映している可能性がある。

個別の新興国では、中国製造業 PMI の軟調さ着目したい(図表 9)。7 月分の結果は 49.8 となり、市場予想の 51.5 および 6 月の 51.8 を大きく下回った。中立水準割れは 9 か月ぶり。構成項目を確認すると、生産と新規受注の悪化が目立った。新規輸出受注は前月からほとんど変わっておらず、内需主導での生産(および見通し)悪化であると評価できる。公表元のコメントを確認しても、「最も顕著な問題は、不十分な内需と市場センチメントの悪さだ」と触れられている。三中全会では改革への道標が示されたものの、それが実効性のある具体的な政策に直結するかは依然不透明である。中国経済停滞論を払しょくするためには、より迅速かつ実効性を伴う経済財政政策の実施が必要になろう。

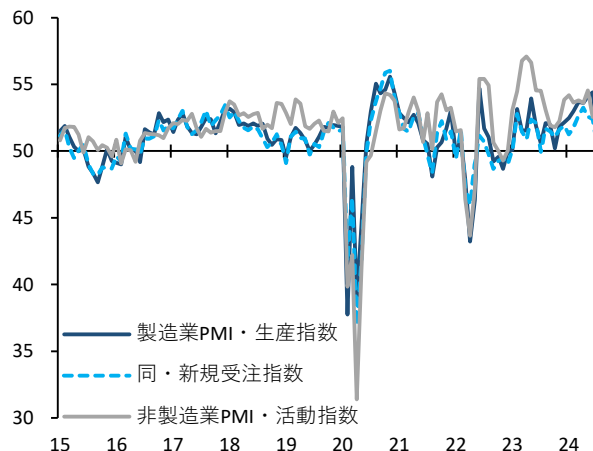
金融市場部
マーケット・エコノミスト
長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



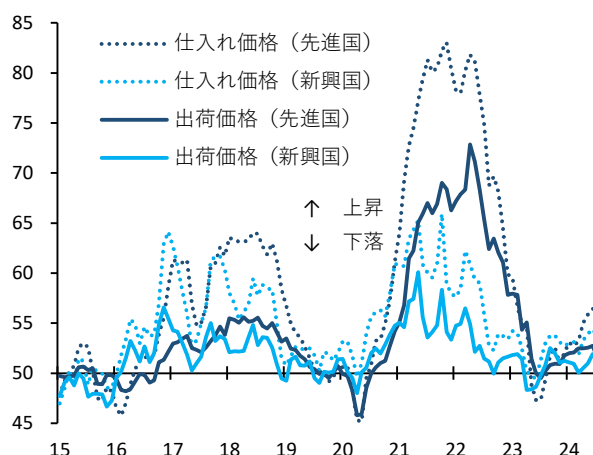
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



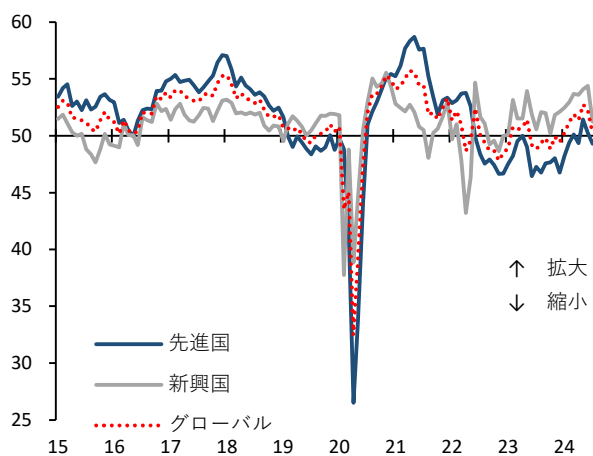
出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・価格指数



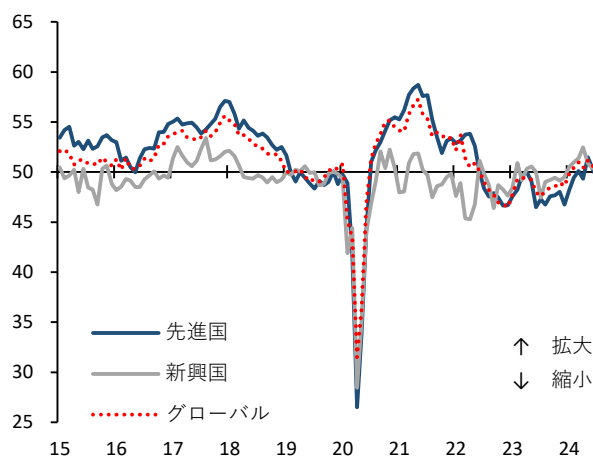
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・生産指数



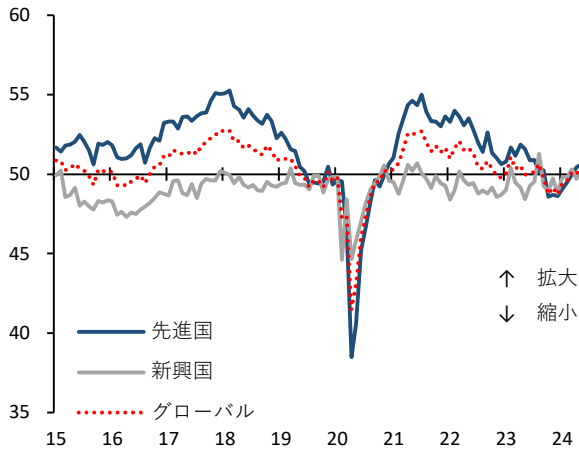
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 製造業 PMI・新規受注指数



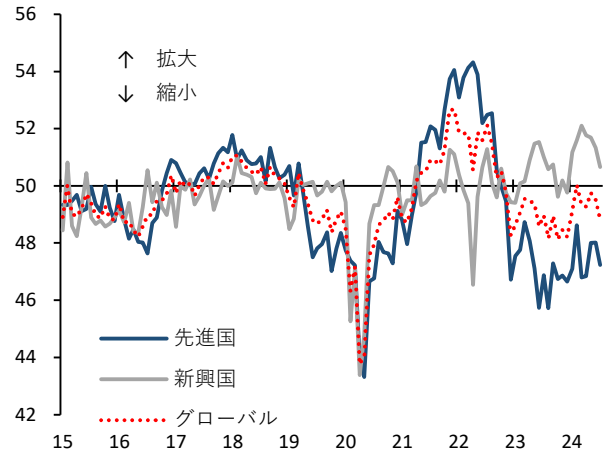
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI・雇用指数



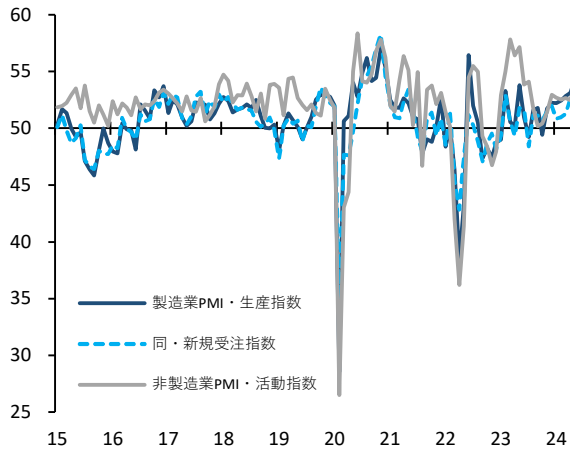
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 製造業 PMI・購買品在庫指数



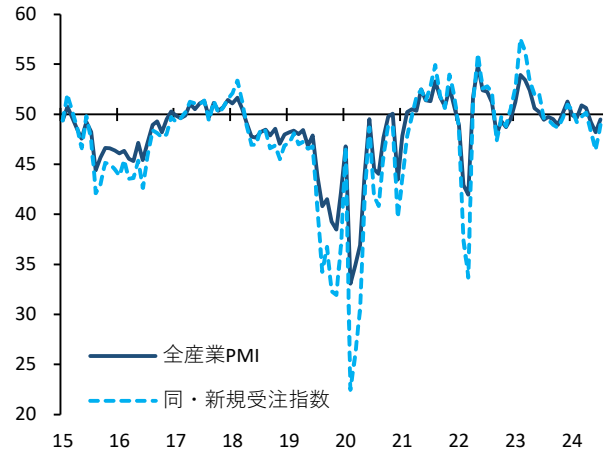
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 中国



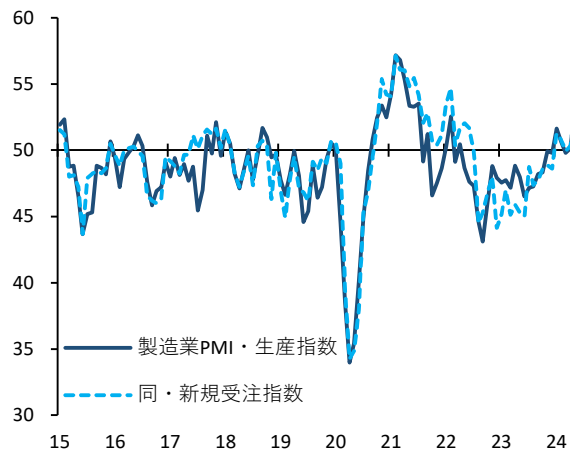
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 香港



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 韓国

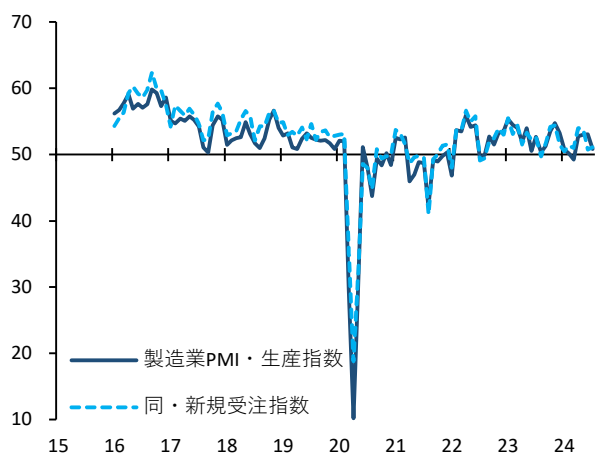


出所: S&P Global、みずほ銀行

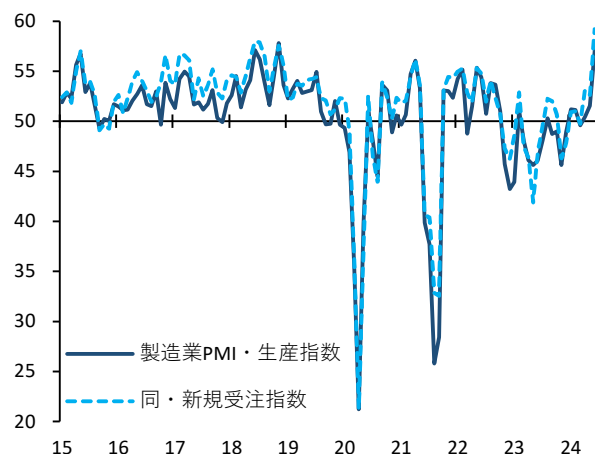
図表 12: 台湾



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン


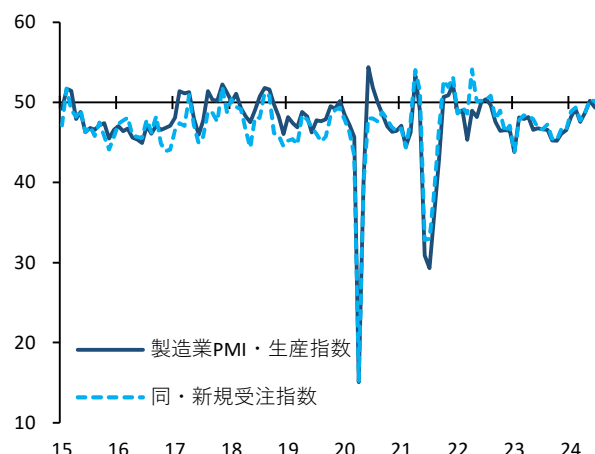
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム


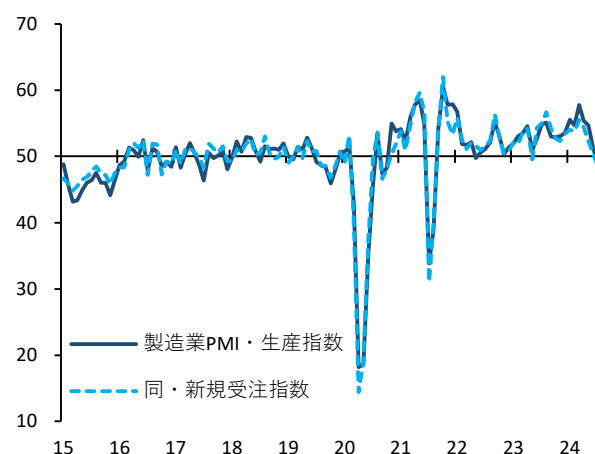
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア


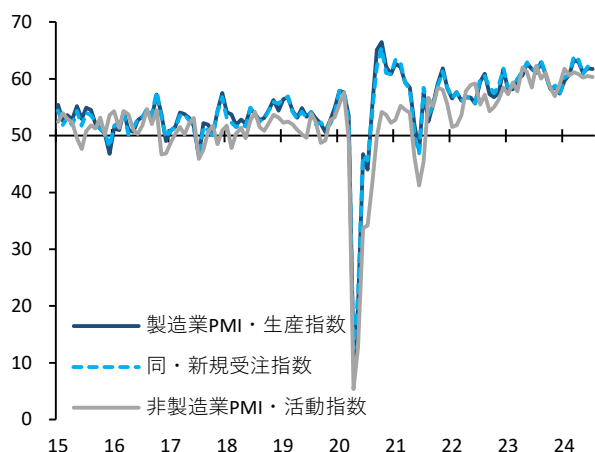
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア


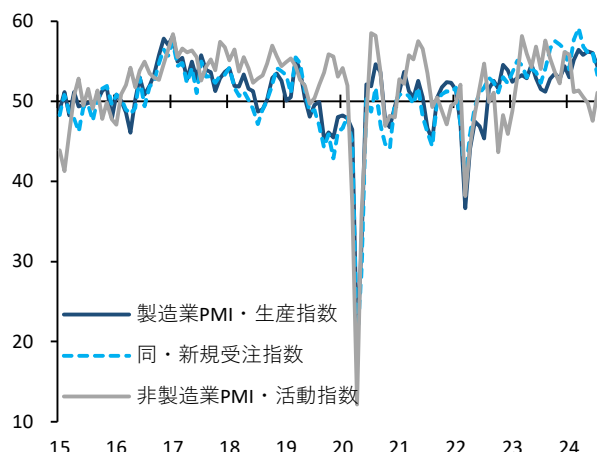
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール

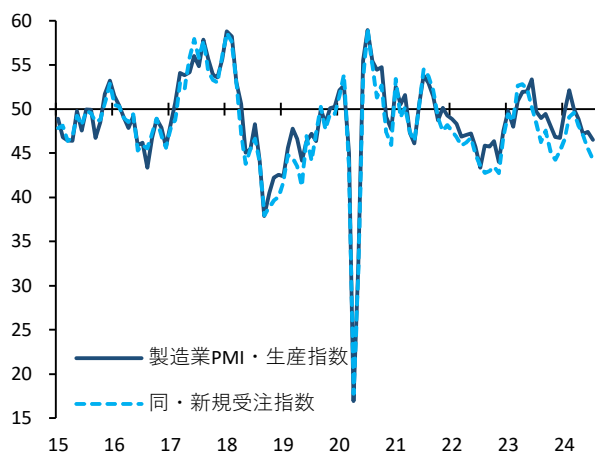

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド


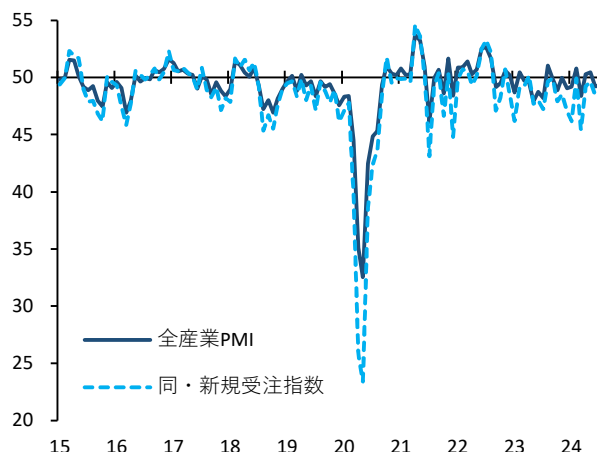
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル


出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。